

## 検事正挨拶

### さいたま地方検察庁検事正

の げ とも ゆき

野 下 智 之

昭和42年生まれ

出身地 佐賀県

任 官	平成 5年	東京地方検察庁検事
略 歴	平成27年	東京高等検察庁検事
	平成29年	法務総合研究所研修第二部長
	平成30年	外務省大臣官房監察査察官
	令和 2年	最高検察庁検事
	令和 3年	甲府地方検察庁検事正
	令和 4年	高松高等検察庁次席検事
	令和 5年	最高検察庁検事
	令和 6年4月	現職

#### 着任にあたって

この度、さいたま地方検察庁検事正として着任しました。様々な分野で発展を続ける「彩の国」で勤務できることを嬉しく思っています。

検察の役割は「人々の幸せな日常の基盤を守ること」にあると考えます。人々が不条理な被害に遭うことなく安全に暮らせることが幸せな日常の基盤であり、私たち検察の役目はそれを守ることにあると考えます。

「お天道様が見ている」という言葉があります。さいたま地方検察庁は「お天道様」の代わりに何が起きたのかをきちんと明らかにし、その内容に応じた処罰を求めていきたいと思えます。倦むことなくこれを続け、人々の幸せな日常の基盤を守りたいと考えます。

時代とともに人は変わり、社会も変わるとも言います。新たな犯罪の手口が生まれ、犯罪者相互の結びつき方にも変化があります。それに伴い、私たちの業務にも困難さが増している面があります。しかし、人が幸せな日常を望む気持ちはいつの世も同じだと思えます。さいたま地方検察庁はそのような人々と共にありたいと考えます。そのため、職員一同不断の努力を重ねていく覚悟です。

今後とも、さいたま地方検察庁の活動に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。